

# 令和6年度 最上学園虐待防止委員会 会議録

日時：令和7年3月8日 13:30～15:30

場所：最上学園会議室

## 1 開会

R2年度の事案を受けて委員会を立ち上げ、委員の方から評価、意見をいただきながら取り組んでいる。最上学園において、虐待防止は最重要課題と考えている。マンネリ化・風化させないよう忌憚のない意見をいただき、取り組みに反映させていきたい。

## 2 別添資料に沿って学園職員が説明

### 3 委員評価・オブザーバー感想

・今年度も虐待事例が発生せず、安心している。それに加え、日々の支援向上に向けた取り組みに感謝している。子供からすると、毎日学校に行き帰ってくる学園は家と同じであるので、ゆっくり疲れがとれる安心できる環境でいて欲しいと思う。今後もそういった虐待事案が起きないことはもちろん、こういった取り組みをする最上学園でいて欲しい。

・虐待防止のために日々分析・改善に努めていることが伝わる説明だった。マンネリ化しないように意識を持ち続けるのは大変だと思うが、取り組みを聞いて毎年感心している。学校においても教室までの送迎をしていただき感謝している。職場環境を良くしていくための取り組みを学校でも行っている。各所で情報を集め、学校と学園の間で情報を共有するための連絡を引き続き密にとっていきたい。

・いろいろと説明を受けている中で、日々虐待防止を最重要課題として取り組んでいるのがよく伝わった。日々のセルフチェックや毎月の会議、研修を数多く受けている結果として虐待事案の0に繋がっていると思うので、引き続き取り組んでいてもらいたい。全職員がセルフチェックを行うことで、働きやすい職場になっているのかなと感じた。言いにくい面もあるということも理解して、取り組みをしているのは良いと感じた。

・セルフチェックシートの形骸化を危惧していたが、虐待防止という視点以上に、支援力向上につながっていると感じた。子供のためという気持ちが資料から伝わった。集団施設ゆえに甘えたくても甘えられないという面は見られる。それが大人になってからの自己肯定感の低さや承認欲求の高さに繋がっている。そうなる前に子供のうちから何かをして、「ありがとう」と言われるような成功体験を積んでいてもらいたい。事故が起きた時は当事者の意見やフォローアップも大切にしていて欲しい。楽しむことがまず大切

で、そこからやりがいなども生まれてくる。支援を楽しんで、子供のためにというのを忘れず、お互いに成功体験を積んでいって欲しい。

・支援のポイントの事例集の情報共有会の考えにとっても共感した。他者の支援を知ること  
はとても良いこと。支援者にもキャラクターがあり、自分なりの支援の形を作っていく  
うえで大切だなと感じた。

・支援のポイントや研修への取り組みを参考に当園にも還元していきたい。

## 7 閉会

一つうまくいってもまた新たな課題が発生するという中だが、引き続きより良い支援に向けて取り組んで行くので、ご理解とご協力をお願いしたい。